

留 学 報 告 書

記入日：2013年9月30日



所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科
留学先国	中国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	華東師範大学 华东师范大学
留学期間	2012年9月～2013年7月
留学した時の学年	3年生 (渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生 (留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	工商管理学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2013年7月10日
明治大学卒業予定年	2014年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期：9 月上旬～1 月上旬 2 学期：2 月下旬～7 月上旬 3 学期： (記入例/ 1 学期：4 月上旬～7 月下旬, 2 学期：9 月中旬～2 月上旬)
学生数	30,000 人
創立年	1951 年

留学費用項目	現地通貨 (元)	円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	21,600	324,000円	1元=15円で計算。以下同様。
食費	9,000	108,000円	
図書費	0	0 円	
学用品費	300	4,500円	
教養娯楽費	0	0 円	
被服費	300	4,500円	
医療費	0	0 円	保険に加入していたため、現地で支払はなし。
保険費		100,000円	形態：大学で進められた保険。
渡航旅費		120,000円	一時帰国も含む。
雑費	1,000	15,000円	上海市内での交通費
その他	8,000	120,000円	旅行費
合計	40,200 元	603,000円	

渡航関連

渡航経路：成田～上海浦東空港

渡航費用

チケットの種類	FIX
往路	25,000 円
復路	30,000 円
合計	55,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

ctrip

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）

大学の宿舎

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋（同居人数 ）

3) 住居を探した方法：

現地の大学が提示してきた中から選択。二人部屋・一人部屋（バストイレ共同）・一人部屋（全て独立）

4) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

私はもともと一人部屋に決めていましたが、二人部屋の友人からの話だと、パートナーによるところが大きいようで、良い悪いがはっきり分かれていました。私の大学の寮は、係の人に申し出れば相手の国籍を選べるみたいです。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した：食中毒になり、現地の病院に行きました。日本人向けの病院があるので、そちらを選んだほうが無難です。（グリーンクリニック等）

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

日本語を話せる留学生担当の先生に相談しました。場所は中山北路キャンパス物理楼、孫先生です。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

主にインターネットです。中国人の知り合いの意見も参考にしました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか。

（例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）

携帯電話は外資系のスーパーで買いました。その後SIMカードを買います。チャージがなくなったら、チャージ用のカードを買ってチャージします。中国では日本に比べてWIFIを使える場所が多いので、日本の携帯も使えました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）

日本で新生銀行の口座を開設しておきました。新生銀行のカードでおろせなかったことはないのですが、便利だと思います。また現地の銀行の口座も開設しました。网上银行（ネット銀行）も併せて開設するとネットでの買い物に便利です。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

ほとんど現地調達できます。ただ、個人差はありますが、WIFIルーターがあったら便利だと思います。

進路について

1) 進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職	<input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など	
進路は就職しか考えてなかったもので、特に参考にしたものはありません。	
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)	
三菱東京 UFJ 銀行	
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。(例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)	
留年せずに就職活動を考えている方は、とにかく早めの準備をしたほうが良いです。私も帰国が近くなってから始めてしまい、帰国後すぐに就活を開始するのに手惑いました。	
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。	
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
4 単位 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 未定 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由：)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)：	履修した授業科目名(日本語)：
市场营销	マーケティング
科目設置学部・研究科	商学部選択
履修期間	2013年2月～7月
単位数	2
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	白露
授業内容	マーケティングの基礎
試験・課題など	課題はプレゼン。試験は全て記述。
感想を自由記入	担当教授はきれいな標準語で聞きやすかったです。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
質量管理		質量管理	
科目設置学部・研究科	会計学科		
履修期間	2013年2月～7月		
単位数	2		
本学での単位認定状況	未定単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	杜剛		
授業内容	製品の生産に関わる管理方法。		
試験・課題など	課題はプレゼン。授業内に課題をやることも。試験は選択・記述両方。		
感想を自由記入	担当教授の訛りが強く何を話してるのかわからなかった。ただこまめに声をかけて下さるので助かった。授業内容は理系に近い。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
飯店管理		ホテル管理	
科目設置学部・研究科	商学部選択		
履修期間	2013年2月～7月		
単位数	2		
本学での単位認定状況	0単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	趙星鉄		
授業内容	ホテル経営・管理について。		
試験・課題など	試験は受けていません。際にホテルに足を運んでレポートにまとめる、というもの。		
感想を自由記入	上海人の先生で訛りが強く、慣れるまでに時間がかかった。ただ、先生の話は面白く、終始笑い声が絶えなかった。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
 (形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2012年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	留学開始
10月～12月	留学に慣れてきて、留学生活を楽しめてきた。
2013年 1月～3月	春休み。中国各地へ旅行へ。
4月～7月	語学能力が向上していることを実感。テストに向けて猛勉強。
8月～9月	帰国、就職活動開始。